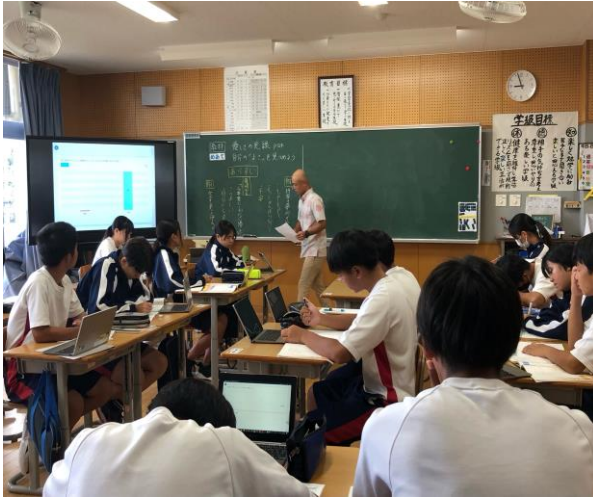


リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名中学校

- 【取組内容①】 **「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」**
 ・生徒自身の考え方を学習支援ソフトで共有、それを基に協働的な学びの充実に繋げていく



【取組内容①】

2学年道徳（5年研/互見授業）において
 タブレット端末を活用した授業が行われた。

まずは授業の導入部分で端末を活用してアンケートを実施。（学習支援ソフト・アンケート活用）

本時の「めあて」に対する個々の考え方を共有し、後半の授業の展開を促していく。

生徒個別の考え方から、他者の考え方に触れることで自分の考え方を見直したり、比較することで個別の学びを更に深化させていく取り組みがなされている。電子黒板にてアンケート内容を即座に共有。そうすることで、連続的な学びの確認が出来ていると思われる。



グループでの討論、発表および振り返りを学習支援ソフトにて提出。

現在、学校全体として端末を活用した授業の取り組みを推進している。以前は紙媒体のプリントも端末を活用することで、授業の効率化を図ったり、瞬時に答えを確認・共有することが出来るので、他者の考え方にも触れることが可能となった。

互見授業を通して、他教師の授業内容を見るだけでなく、端末の使い方や生徒の考え方も可視化できるので、そういう機会も創出出来ているといえる。

授業開始のアンケートから振り返りまでの生徒の意識変容を可視化できることは、教師のみならず、生徒間の学びにも大きく影響すると思われる。

- 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」
 ・生徒自身の考え方を学習支援ソフトで共有、それを基に協働的な学びの充実に繋げていく



【取組内容①】

3学年理科（5年研/互見授業）において
 タブレット端末を活用した授業が行われた。

まずは授業の導入部分で端末を活用して解答予測を提出。（学習支援ソフト活用）

本時の「めあて」に対する個々の考え方を共有し、後半の授業の展開を促していく。生徒個別の考え方から、他者の考え方に触れることで解答予測を見直したり、比較することで個別の学びを更に深化させていく取り組みがなされている。電子黒板にて解答予測を共有。

自分の解答の正誤だけではなく、その導き方も含め他者と協働的に考えることで、連続的な学びの確認が出来ていると思われる。

個々の解答予測に対しグループごとに、発表および振り返りを学習支援ソフトにて再度提出。

学校全体として端末を活用した授業の取り組みを推進している。端末を活用することで、授業の効率化を図ったり、瞬時に答えを確認・共有することが出来るので、他者の考え方にも触れることが容易となった。

互見授業を通して、他教師の授業内容を見るだけでなく、端末の使い方や生徒の考え方も可視化できるので、そういう機会も創出出来ているといえる。授業開始の解答予測から振り返りまでの生徒の意識変容を可視化できることは、教師のみならず、生徒間の学びにも大きく影響すると思われる。



【取組内容①】 **「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」**
・ICT機器を活用し、自らで学びを探求し、目標達成の手立てを探す



【取組内容①】

1 学年体育（校内研/互見授業）においてタブレット端末及びICT機器を活用した授業が行われた。まずは授業の導入部分でICT機器を活用して本時の「課題」克服の手立てについて動画を参考に考察。

本時の「めあて」に対する目標を明確に見せることで、後半の授業の展開を促していく。「マット運動」という特殊な運動の中で、映像を介することで学びのイメージを確認し、他者と学び合いながら、実技に取り組んでいく。



個々の実技をタブレットにて動画撮影。

その後、その動画を活用し、即座に生徒同士で振り返りを行い、目標達成に向けて自ら考える時間を設けた。

現在、学校全体として端末を活用した授業の取り組みを推進しており、授業の効率化を図ったり、瞬時に答えを確認・共有することが出来るので、他者の考え方にも触れることが可能となった。

互見授業を通して、他教師の授業内容を見るだけでなく、端末の使い方や生徒の考え方も可視化できるので、そういう機会も創出出来ているといえる。

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」
・大学と連携し防災教育に関するオンライン授業を行う



【取組内容②】

琉球大学医学部保健学科と連携して避難訓練に対するリモート授業が行われた。

避難訓練の主旨としては、伊是名島における避難訓練計画の策定及び避難行動支援者体験等多岐に渡り、その避難訓練の導入として琉球大学医学部保健学科の関口准教授のリモート授業が行われた。

2学年は職場体験の際、事前に琉球大学に出向き、液状化再現実験や津波再現実験を見学したあとだったので、リモート授業の内容の理解が早く、準備して頂いたクイズ形式の授業もスムーズに進めることができた。琉球大学からも2名サポートで来校され、円滑なリモート授業が可能となった。

津波のメカニズムや伊是名島のハザードマップの確認など、専門家による授業はとても分かりやすく、島内では得られる知識ではないので、貴重な時間となった。

その翌日は実際に防災訓練が行われ、前日の導入がしっかり行動として訓練を行うことができた。

防災授業ワークシートを準備し、端末を介して生徒に一斉に配布(アンケート形式)、解答確認しながら個々の防災に対する考え方を集約。琉球大学とも共有し、生徒の防災意識の変容を確認できた。

島内だけの教育資源には限界があり、今後もオンラインで専門家を招聘しながら、様々な学びに触れさせていきたい。



【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」 ・オンラインによるバスケットコーチング



【取組内容①】

スポーツリーグとして日本初の社会的責任活動プロジェクト「B.LEAGUE Hope (B.Hope) の離島児童支援の一環として本校が選ばれた。

民間企業と地元バスケットボールチームのご協力を得ながら、「練習のモチベーションを得る」「プロの指導を受ける」といった機会を提供し、同じ境遇の子どもたちの環境改善のきっかけになることを目指した取り組みに本校が参加することが決定し、専門的な指導が受けられる機会を得た。

同校バスケット部員たちは、民間企業の情報技術を用いながら、地元バスケットボールチームのプロコーチ陣の指導の下、バスケットボールの向上に励んだ。10月から開始した自主練習フェーズからスキルズチャレンジタイムアタックやAIを活用したスポーツ練習アプリを利用してチーム内練習を行い、コーチングフェーズでは練習時の動画を担当コーチに送付⇔添削をし合い、フォームの確認・動き・目線など丁寧な指導を受けることができた。

最終的に、オールスター (B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2024 IN OKINAWA)本番前に、スキルズチャレンジに選ばれた本校の選手が参加、沖縄市の沖縄アリーナにて同コートで披露することが可能となった。

島内だけの教育資源には限界があり、今後もオンラインで専門家を招聘したり、専門的な指導が得られる機会を模索しながら、様々な学びに触れさせていきたい。



【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」
・他校とオンライン交流会



【取組内容②】

当校2学年と島外にある大宜味中学校2学年とのオンライン交流会を実施。

事前にパワーポイントで学校紹介や島の特色等を作成し、交流会の準備を行った。

交流会当日は、ウェブ会議システムを使用して、各自準備していた質問やプレゼンテーション等の発表しながら他校との交流ができた。

離島が故に、対外的な交流が乏しい中、オンラインを介して他校と交流を通して、改めて自校の良いところを見直すきっかけとなった。

今後も積極的に交流できる機会を設けていきながら郷土愛形成にも繋げていきたい。

- 【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」
・授業におけるICT活用を推進していくため、外部講師による教員研修を行う



【取組内容③】

校務の効率化を目指すべく、ICTを活用を推進していくため、島外より講師を招聘して、教員向け校内研修が行われた。

校内では授業における学習支援ソフトの活用を推進しているので、まずは復習を兼ねてGIGAスクール構想の概要を確認。授業支援や校務支援で使われるアプリ紹介からスタートし、研修教材や参考資料の確認を行いながら研修がスタート。

初心者もいたので、まずは触ってみることを念頭に研修開始。

学習支援ソフトにて出来ることの確認、

双方向授業や思考の可視化（シンキングツール）を紹介して頂きながら、授業ノートの作成を行い、慣れている教師がサポートしながら進行。

後半は学習支援ソフトの実習としてテストとシンキングカードを活用とした研修に切り替え、授業で活用する際の困りごとやQ&Aを共有しながら進行。

現機能だけでは対応できないこともあるが、

使ってみて慣れていくことも一理ある、ということで

各教師で授業ノートを作成したり、カードを作成して共有したり、と協働的な研修が行われた。

研修後は、積極的に学習支援ソフトを活用した授業が行われるようになり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる授業が展開されている。

今後も継続的に校内研修や職員会議でも活用できるように推進していくよう努めていく。



【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」
・オンラインによる教員研修



【取組内容③】

校内研修の一環として、オンラインを活用した教員向け校内研修が行われた。

本来、校内研修は対面型で実施してきたことが多いが、離島の不便性を解消すべく、オンライン研修にも積極的に取り組んでいる。

この研修では、当校SCとの研修会を行い、オンラインで研修を受けながら、今後の生徒への指導方法等を考える時間となった。

離島が故、講師招聘も容易ではない状況の中でオンラインを介して研修が行えるのもICTの恩恵である。

次年度以降も積極的にオンライン研修の場を設けていく予定である。

【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」
・校務の効率化（校務支援ソフトの活用）



【取組内容③】

校務の効率化を目指すべく、ICT活用の一環として校務支援ソフトを活用とした職員会議を取り組んでいる。

紙媒体での資料配布を基本的には行っておらず、校務支援ソフトを活用し、一斉閲覧が出来るように進めている。

校務支援ソフトについては、教育委員会管轄の小中学校の教員等の連絡網としても使用できるので、非常に効率的な使用が可能になっている。

その他、地区教科担当への連絡周知、教育委員会への連絡等迅速に対応することが可能になっており、ICT活用と公務の効率化は非常に効果的だといえる。